

令和2年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


保 育 実 習 理 論

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の曲の伴奏部分として、A～Dにあてはまるものの正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

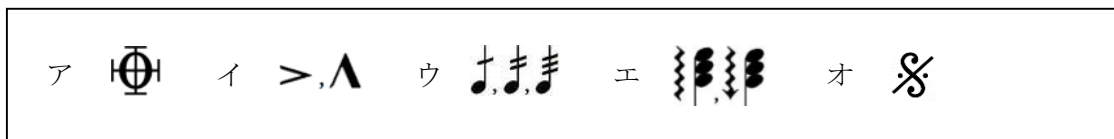
	A	B	C	D
1	ア	イ	エ	オ
2	イ	ウ	ア	エ
3	イ	オ	エ	ア
4	エ	ア	イ	ウ
5	エ	イ	オ	ア

問2 次の【I群】の音楽用語と【II群】の記号を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A アクセント
- B アルペッジョ
- C トレモロ
- D コーダ・マーク

【II群】

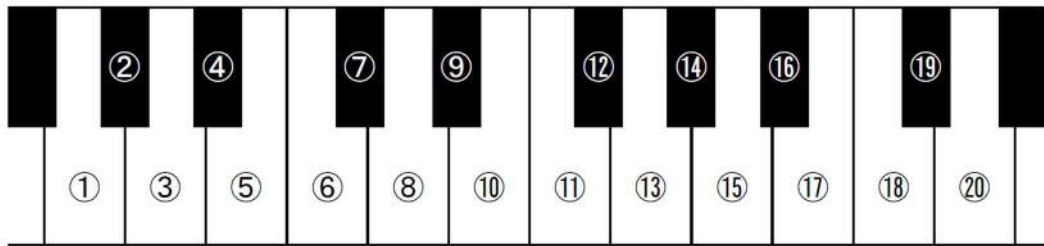


(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | イ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア |
| 3 | イ | エ | ウ | ア |
| 4 | ウ | エ | ア | オ |
| 5 | オ | ア | ウ | イ |

問3 次のコードネームにあてはまる鍵盤の位置として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

	ア	イ	ウ
CM7	: ⑩⑬⑮	⑤⑥⑩	⑥⑨⑰
G <sup>#</sup>	: ②⑦⑨	⑨⑭⑰	⑥⑨⑭
Adim	: ⑥⑨⑮	⑩⑮⑱	⑨⑮⑲
E <sup>b</sup>	: ⑨⑬⑰	⑤⑨⑫	④⑨⑬

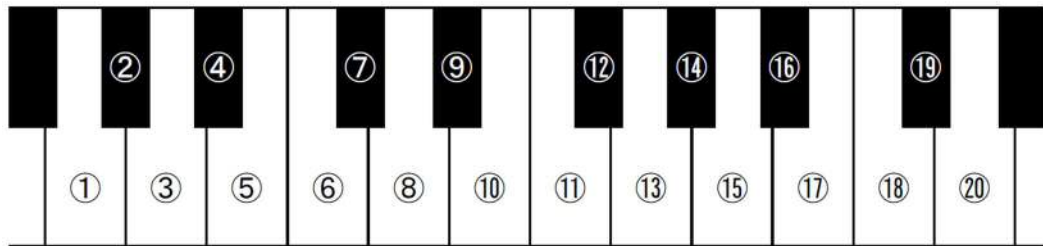


(組み合わせ)

	CM7	G <sup>#</sup>	Adim	E <sup>b</sup>
1	ア	ア	イ	ウ
2	ア	ウ	ア	イ
3	イ	ア	イ	ウ
4	イ	ウ	ア	ウ
5	ウ	イ	ウ	ア

問4 次の曲を4歳児クラスで歌ってみたところ、低い音が歌いにくそうであった。そこで短3度上のハ長調に移調することにした。その場合、A、B、Cの音は鍵盤の①から⑳のどこを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。



(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ⑬ | ⑥ | ⑤ |
| 2 | ⑬ | ⑪ | ⑧ |
| 3 | ⑱ | ⑱ | ⑬ |
| 4 | ⑱ | ⑰ | ⑬ |
| 5 | ⑱ | ⑳ | ⑰ |

問5 次のリズムは、ある曲の歌いはじめの部分である。それは次のうちどれか、一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 「あわてんぼうのサンタクロース」(作詞：吉岡治 作曲：小林亜星)
- 2 「子どもの世界」(日本語詞：小野崎孝輔 作曲：R. B. シャーマン・R. M. シャーマン)
- 3 「シャボン玉」(作詞：野口雨情 作曲：中山晋平)
- 4 「ジングルベル」(日本語詞：宮沢章二 作曲：ピアポント)
- 5 「山の音楽家」(日本語詞：水田詩仙 ドイツ民謡)

問6 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「七つの子」は中田喜直が作曲した。
- B ロ長調の平行調は嬰ト短調である。
- C 斉唱とは、2つの旋律を多数の人の声で歌うことを指す。
- D 変イ長調の階名「ファ」は、音名「ニ」である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問7 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」のオ「表現」(ア)「ねらい」の記述である。「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」として正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
- B 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。
- C 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。
- D 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- E 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	○	×	○
5	×	○	×	○	×

問8 次の文は、夏の時期の環境を活かした造形的な遊びに関する記述である。

( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

朝顔などの夏の植物を利用した ( A ) 遊びでは、色水をジュースに見立て、自然の色  
の美しさからイメージを広げ、ジュース屋さんなどの ( B ) 遊びが展開できる。

また、絵の具の感触を全身で味わう ( C ) では、体や顔にペイントすることでお化  
けに変身したり、大きな紙や時には窓ガラスに色や形、自分の体の動きを楽しみながらペ  
イントしたりすることで、 ( D ) を楽しむことができる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	混色	ごっこ	アクションペインティング	フィンガーペインティング
2	色水	工作	フィンガーペインティング	ボディーペインティング
3	色水	ごっこ	ボディーペインティング	アクションペインティング
4	栽培	造形	ボディーペインティング	アクションペインティング
5	混色	工作	フィンガーペインティング	ボディーペインティング



問9 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「芸術による教育 (Education through Art)」という言葉を打ち出したのは、イギリスの哲学者・美術評論家であるクレメント・グリーンバーグ (Greenberg, C.) である。
- B 第二次大戦後、オーストリア出身の美術教育家フランツ・チゼック (Cizek, F.) に刺激を受けた河井寛次郎は、日本における「創造美育」運動を起こした。
- C DBAE (Discipline Based Art Education) とは、20 世紀後半のアメリカにおける造形美術教育の動きであり、批評、美学、美術史、実制作の4領域からなる。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	×
4	×	○	○
5	×	×	○

問10 次の【Ⅰ群】の用具と【Ⅱ群】の特徴を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A パス（オイルパステル）
- B 絵の具
- C マーカー
- D 色鉛筆

【Ⅱ群】

- ア 太さや透明感、水性・油性など多様な種類から選んで使うことができ、明快で滑らかな線が描ける。
- イ 濃度や筆の太さを変えることで線の表情が変わり、素材の感触を楽しむこともできる。
- ウ 力入れ具合で多様なストローク（線の勢い）が生まれる描画材。
- エ 細かな部分の着色がしやすく、少しずつ色がつくため繊細な色や調子の変化を作り出すのに適している。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ア | エ | ウ |
| 3 | ウ | イ | ア | エ |
| 4 | エ | イ | ウ | ア |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問 11 次の文は、絵画技法に関する記述である。(a)～(d)の下線部分が適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

(a) コラージュとは「ノリづけ」を意味する言葉で、通常の描画材料で描くのではなく、様々な素材(雑誌、包装紙、布など)の絵や写真、文字などを組み合わせ貼りつけて表現する。2枚以上の写真や絵などを貼り合わせることで新たなイメージを表出させる技法である。(b) 印象派時代において、ピカソ(Picasso, P.)や(c) ゴッホ(Gogh, V.V.)が始めた絵画技法(d) パピエ・コレを発展させたものといわれている。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	×

問 12 次の図は、4つの身近なものをスタンプして描いたカニの絵である。これを描くためにスタンプとして使われた材料として適切なものを一つ選びなさい。

図

著作権の関係により公表できません。

- 1 輪切りのピーマン、段ボール、洗濯バサミ、六角ナット
- 2 電池、洗濯バサミ、エアクッション、段ボール
- 3 電池、洗濯バサミ、コンパス、六角ナット
- 4 ペットボトルの底、はさみ、レンコン、段ボール
- 5 輪切りのオクラ、段ボール、はさみ、エアクッション

問 13 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の 3 「3 歳以上児の保育に関するねらい及び内容」のエ「言葉」(ウ)「内容の取扱い」の④である。( A )～( D )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもが生活の中で、言葉の響きや( A )、新しい言葉や( B )などに触れ、これらを使う楽しさを味わえるようにすること。その際、絵本や( C )に親しんだり、( D )などをしたりすることを通して、言葉が豊かになるようにすること。

【語群】

ア 紙芝居	イ リズム	ウ 表現	エ 文字	オ 言葉遊び	カ 音
キ 物語					

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ウ | キ | オ |
| 2 | イ | エ | キ | ア |
| 3 | ウ | イ | エ | ア |
| 4 | ウ | エ | キ | オ |
| 5 | カ | エ | ア | オ |

問 14 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 『おやゆび姫』は、グリム兄弟の創作童話である。
- B 『一寸法師』は、日本の昔話である。
- C 『ふしぎの国のアリス』は、ロシアの昔話である。
- D 『ゼロ弾きのゴーシュ』は、宮沢賢治の創作童話である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問 15 次の文は、乳児保育を行う際の、遊びを支える環境及び玩具に関する記述である。  
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子ども一人一人が充実して遊べるように、場所の広さや動線、他者の存在の気配など、空間のつくり方に配慮する。
- B 玩具などは、音質、形、色、大きさなど、子どもの発達状態に応じて適切なものを選ぶ。
- C 遊びを通して乳児の感覚の発達が促されるものとなるように工夫する。
- D 保育室の遊びのコーナーの玩具等は、素材の強度や手入れのしやすさなどに配慮して用意する。
- E 保育室の遊びのコーナーは、背の高い家具で仕切るなどして他者から目の届かない空間を作り、一人一人の子どもが独立して遊べるよう考慮する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	○	○
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	×

問 16 次の文は、保育所における午睡に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 午睡は生活のリズムを構成する重要な要素である。
- 2 普段は午睡を必要としない子どもであっても、午前中の活動などで疲れが見られる場合などは、午睡をしたり静かに体を休めたりすることができよう配慮する。
- 3 5歳頃の子どものためには、就学後の生活も見通し、一日の生活のリズムを形成していく観点から、保護者と連携をとりながら、徐々に午睡のない生活にしていくようにする。
- 4 子どもの在園時間が異なったり、睡眠時間が子どもの発達の状況や個人により差があったとしても、午睡は一律とする。
- 5 子どもが安心して眠ることのできる安全な睡眠環境を確保することが大切である。

問 17 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

保育所でF君（1歳6か月、男児）が積み木を並べていると、その様子をじっと見ていたG君（1歳7か月、男児）がその積み木を取りました。F君は「Fちゃんの！」と言って泣きながら近くにある積み木でG君をたたこうとします。

**【設問】**

「保育所保育指針」第1章「総則」の2「養護に関する基本的事項」及び第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」に照らして、保育士の対応として最も不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 怪我をしないようにF君とG君を離す。
- 2 「F君は、積み木とられて嫌だったね」「G君はF君の積み木を貸してほしかったんだね」とそれぞれの子どもの思いを言葉にしていく。
- 3 F君に積み木を貸してもらえるか確認をして嫌なようであれば、G君に「今、F君が使っているから、終わるまで待ってようか」と声をかけ、状況に応じてG君と共に遊びながら待つ。
- 4 F君が積み木を使い終わったら、G君とともに、F君に「F君、積み木もう終わり？」と確認する。
- 5 「仲良く使わなきゃダメでしょう」と言葉で伝え、保育士が積み木を2等分して、F君とG君に与える。



問 18 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」 3 「保育の計画及び評価」(1) 「全体的な計画の作成」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所は、1の(2)に示した保育の目標を達成するために、各保育所の保育の方針や目標に基づき、子どもの(a) 個性を踏まえて、保育の内容が組織的・計画的に構成され、保育所の生活の全体を通して、総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成しなければならない。
- ・ 全体的な計画は、子どもや家庭の状況、地域の実態、(b) 保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しをもって適切に作成されなければならない。
- ・ 全体的な計画は、保育所保育の全体像を包括的に示すものとし、これに基づく指導計画、(c) 安全計画、食育計画等を通じて、各(d) 自治体が創意工夫して保育できるよう、作成されなければならない。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問 19 次の文は、乳児院での実習を控えて、実習生が事前学習で施設について調べた内容である。乳児院に関する記述として不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児院は、原則として乳児を入所させて養育する施設であるが、実際には2歳あるいは3歳まで入所していることも多い。
- 2 乳児院で生活している子どものほとんどは保護者がいるものの、家庭に復帰するのは約30%である。
- 3 日常の養育において「担当養育制」を行い、特別な配慮が必要な場合を除いて、基本的に入所から退所まで一貫した担当制とする。
- 4 乳幼児10人以上20人以下を入所させる施設では、看護師の代わりとなる保育士のほかに保育士を1人以上置かなくてはならない。
- 5 保護者による養育が緊急的・一時的にできなくなった乳幼児を預かるショートステイ（短期入所生活援助事業）等の子育て支援機能は、虐待予防にも役立つ乳児院の重要な機能である。

問 20 次の文のうち、「乳児院運営ハンドブック」(平成 26 年 3 月 厚生労働省)の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

職員は「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」第 21 条に規定されており、子どもたちの生活に直接にかかわる (a) 看護師、保育士、(b) 児童指導員のほかに、間接的にかかわる施設長、医師または嘱託医、栄養士、調理師、事務員の配置が義務付けられています。また、専門的支援を目的として、家庭復帰に向けて家庭や児童相談所などの関係機関との連絡調整を中心に行う家庭支援専門相談員、(c) 心理に関する相談や支援を担当する心理療法担当職員、被虐待児等に対応する個別対応職員などが配置されています。2012 年度 (平成 24 年度) からは新たに (d) 保護者への職業指導を行うとともに、就労及び自立を支援することを目的とする職業指導員が配置されました。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×